しんきんＵＳバランス・プラスゴールド（1年決算型）
愛称：米国キラリ

追加型投信／海外／資産複合

交付運用報告書

第３期（決算日2024年２月26日）

作成対象期間（2023年２月28日～2024年２月26日）

第３期末（2024年２月26日）	
基準価額	9,312円
純資産総額	375百万円
第３期	
騰落率	1.1%
分配金（税込み）合計	95円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第２位を四捨五入して表示しています。
（注）純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しています。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しています。
○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めています。弊社ホームページの「ファンド各種資料」において運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。
○運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される場合は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てに預かり厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております「しんきんＵＳバランス・プラスゴールド（１年決算型）」（愛称：米国キラリ）は2024年２月26日に第３期の決算を行いました。

当ファンドは、海外の複数の資産（債券・株式・金）に分散投資をすることにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行っています。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

しんきんアセットマネジメント投信株式会社

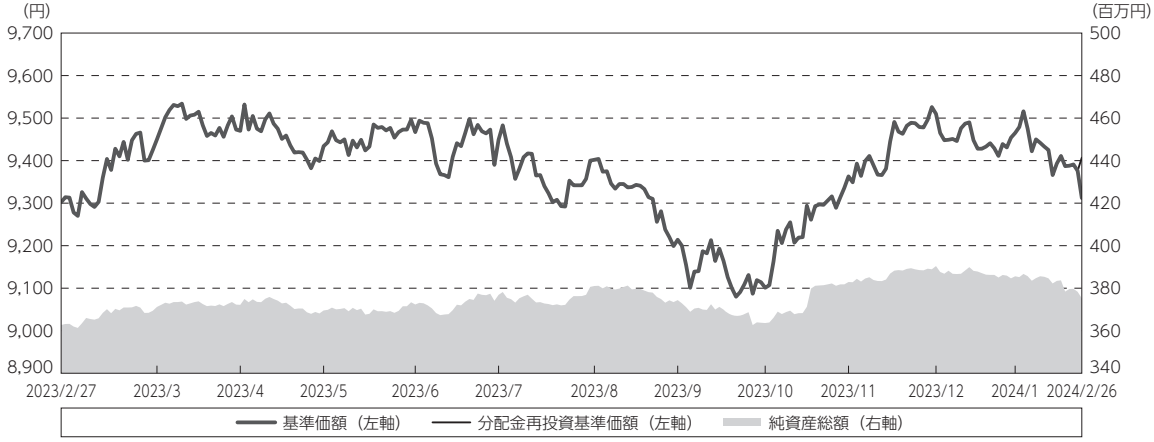
〒104-0031 東京都中央区京橋３丁目８番１号
https://www.skam.co.jp

＜コールセンター＞ 0120-781812
（土日、休日を除く 9：00～17：00） 携帯電話からは03-5524-8181

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2023年２月28日～2024年２月26日）



期　首：9,302円
期　末：9,312円（既払分配金（税込み）：95円）
騰落率：　1.1%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）分配金再投資基準価額は、期首（2023年２月27日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しています。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、マザーファンドの受益証券への投資を通じて、海外の複数の資産（米国債券・米国株式・金）に分散投資を行うことで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行っています。

当期は、米国株式市場と金相場の上昇やドル高円安がファンドの基準価額に対してプラスに寄与したことを主因に基準価額は上昇しました。

各マザーファンドの主な変動要因は、次のとおりです。

米国債券

●しんきん米国債券ＥＴＦマザーファンド

＜上昇要因＞
・ドル高円安が進んだこと。

＜下落要因＞
・堅調な米国経済を示唆する経済指標などを受け、米連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）が追加利上げを行い、米国の金融引締め長期化観測が高まったことなどから、米国金利が上昇（債券価格は下落）したこと。

米国株式

●しんきんＳ＆Ｐ５００インデックスマザーファンド

＜上昇要因＞
・米インフレ鈍化と堅調な米経済指標などにより、米国経済の軟着陸（ソフトランディング）期待が高まったこと。
・人口知能（ＡＩ）の普及に対する期待が高まったこと。
・ドル高円安が進んだこと。
＜下落要因＞
・米シリコンバレー銀行の経営破綻などを受け、金融不安が高まったこと。
・イスラエルとハマスの紛争が勃発し、地政学リスクが高まったこと。

金

●しんきんゴールドＥＴＦマザーファンド

＜上昇要因＞
・米利上げ停止期待が高まったこと。
・金融不安や地政学リスクが高まったことで、金が選好されたこと。
・円安が進んだこと。
＜下落要因＞
・米国金利が上昇したこと。

１万口当たりの費用明細

（2023年２月28日～2024年２月26日）

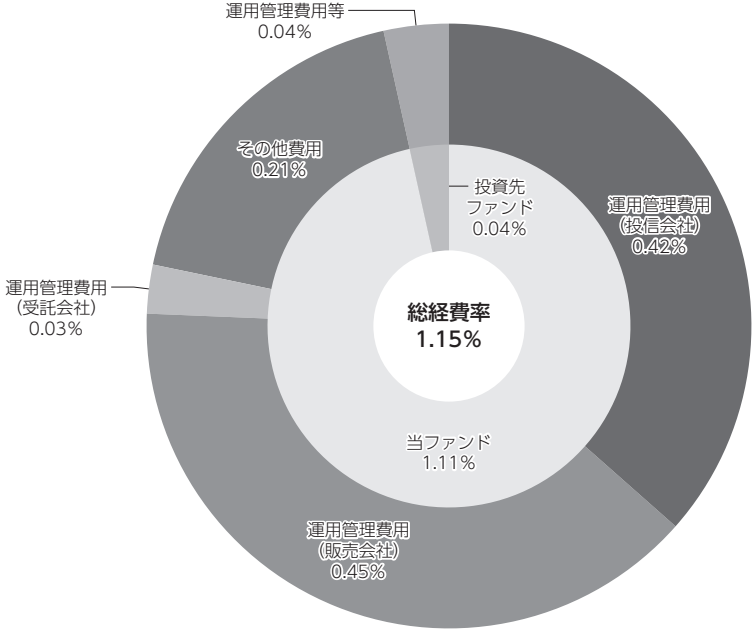
項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	84	0.900	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(39)	(0.417)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(42)	(0.450)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	4	0.044	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(4)	(0.044)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	19	0.205	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(17)	(0.179)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(2)	(0.020)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合計	107	1.149	
期中の平均基準価額は、9,386円です。			

（注）期中の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。
（注）売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第３位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

◯総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.15％です。



（単位：％）

総経費率（①＋②）	**1.15**
①当ファンドの費用の比率	1.11
②投資先ファンドの運用管理費用等の比率	0.04

（注）当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。
（注）当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注）当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注）投資先ファンドには運用管理費用等の他に費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近５年間の基準価額等の推移

（2019年２月25日～2024年２月26日）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）当ファンドの設定日は2021年６月14日です。

	2021年６月14日 設定日	2022年２月25日 決算日	2023年２月27日 決算日	2024年２月26日 決算日
基準価額　(円)	10,000	9,921	9,302	9,312
期間分配金合計（税込み）　(円)	－	0	0	95
分配金再投資基準価額騰落率（%）	－	△ 0.8	△ 6.2	1.1
純資産総額　(百万円)	18	308	362	375

（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しています。
（注）純資産総額の単位未満は切り捨てて表示しています。
（注）騰落率は１年前の決算応当日との比較です。
ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2022年２月25日の騰落率は設定当初との比較です。
（注）当ファンドは、海外の複数の資産（債券・株式・金）に分散投資を行っていますが、特定の指数を上回る、または連動を目指した運用を行っていないため、ベンチマークおよび参考指標はありません。

投資環境

（2023年２月28日～2024年２月26日）

（米国債券市況）

当期の米国国債市場は、米10年債利回りが上昇（価格は下落）しました。

期首、米インフレ懸念などにより米10年債利回りは4.0％程度に上昇した後、2023年３月に米シリコンバレー銀行の経営破綻などにより、リスク回避の動きが強まったことなどから、同利回りは３％台前半まで低下し、５月中旬にかけて3.5％を挟んでのレンジ圏での推移となりました。その後10月にかけて、堅調な米国経済を示唆する経済指標が相次いだことやＦＲＢが金融引締めの長期化を示唆したことに加え、米国国債の発行増額による需給悪化懸念により、米10年債利回りは上昇基調で推移し、一時5.0％台まで上昇しました。11月から12月にかけては、米財務省が発表した四半期国債発行計画での発行の増額規模が市場予想を下回り、米国国債の需給悪化懸念が後退したことや、米インフレが鈍化傾向を示す中、ＦＲＢがハト派的な姿勢を示し、利上げ停止と早期利下げ期待が高まったことから、米10年債利回りは低下基調となり、3.8％程度まで低下しました。2024年１月から期末にかけては、ＦＲＢ高官による市場の早期利下げ観測をけん制する発言や堅調な米経済指標が相次いだことから、早期利下げ期待が後退し、米10年債利回りは4.3％程度まで上昇しました。

なお、ＦＲＢは2023年３月、５月、７月の米連邦公開市場委員会（ＦＯＭＣ）でそれぞれ0.25％の利上げを行い、政策金利のフェデラル・ファンド（ＦＦ）金利の誘導目標は期末時点で5.25～5.50％となっています。

（米国株式市況）

当期の米国株式市場は、全体として上昇しました。

2023年３月に米シリコンバレー銀行の経営破綻などを受け、金融不安が高まり、米国株式が下落する局面はありましたが、欧米の金融当局による金融支援策などを受けて金融不安が和らいだことに加え、米インフレ鈍化と堅調な米経済指標を背景にソフトランディング期待が高まったことや、人工知能（ＡＩ）の普及への期待によるテクノロジー株の上昇などから、７月にかけて米国株式は上昇基調で推移しました。８月から10月にかけては、ＦＲＢの金融引締め長期化観測が高まり、米国金利が上昇したことや、イスラエルとハマスの紛争が勃発し、地政学リスクが高まったことなどから、米国株式は下落しました。11月から期末にかけては、ＦＲＢの利上げ停止と早期利下げ観測が高まったことや、米国経済のソフトランディング期待とＡＩ関連企業を始めとする企業業績の改善期待が高まったことなどを受け、米国株式は上昇基調で推移しました。

（金市況）

当期の金相場は、上昇しました。

2023年３月に米シリコンバレー銀行の経営破綻などにより、金融不安が高まったことで、安全資産として選好されやすい金は大きく上昇しました。その後金融不安は後退しましたが、米国景気の先行き懸念の高まりや米インフレ鈍化を受けたドル安などを受け、５月上旬にかけて金相場は堅調に推移しました。５月中旬から10月上旬にかけては、堅調な米国経済を示唆する経済指標が相次ぎ、ＦＲＢがタカ派的な姿勢を示したことで、金融引締め長期化懸念が高まったことなどから、下落基調で推移しました。その後、イスラエルとハマスとの間で紛争が勃発すると、地政学リスクの高まりにより、金相場は大き

く上昇しました。12月末にかけても、米インフレが鈍化傾向を示し、ＦＲＢがハト派的な姿勢を示したことで、利上げ停止と早期利下げ期待が高まり、米国金利の低下やドル安が進行する中、金相場は上昇基調で推移しました。2024年１月から期末にかけては、ＦＲＢ高官による市場の早期利下げ観測をけん制する発言や堅調な米経済指標などを受けて、早期利下げ期待が後退し、米国金利の上昇とドル高が進行する中、軟調に推移しました。

（為替市況）

当期の為替（ドル円）相場は、ドル高円安となりました。

2023年３月に米シリコンバレー銀行の経営破綻などを受け、ＦＲＢによる早期の利上げ停止観測が高まったことから、ドル円は137円程度から130円程度まで下落しました。４月から６月にかけては、堅調な米経済指標を受けて米追加利上げ観測が高まったことや、植田日銀総裁が現行の金融政策を維持する姿勢を示し、日銀の早期政策修正観測が後退したことなどから、ドル円は上昇基調で推移し、145円程度まで上昇しました。７月に米国の非農業部門雇用者数やインフレ指標が市場予想を下回ったことや、日銀が金融政策決定会合で市場予想に反して長短金利操作の運用柔軟化を決定したことなどから、137～138円台に下落する局面はありましたが、ＦＲＢの金融引締め長期化観測が高まり、米国金利が上昇する中、11月中旬にかけてドル円は上昇基調で推移し、151円台後半まで上昇しました。その後12月末にかけては、ＦＲＢの利上げ停止と早期利下げ期待が高まったことなどから、ドル円は下落基調で推移し、一時140円台前半まで下落しました。2024年１月から期末にかけては、ＦＲＢ高官による市場の早期利下げ観測をけん制する発言などを受けて早期利下げ期待が後退する中、ドル円は150円台まで上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

（2023年2月28日～2024年2月26日）

当ファンドでは、親投資信託である「しんきん米国債券ＥＴＦマザーファンド」（米国債券）、「しんきんＳ＆Ｐ５００インデックスマザーファンド」（米国株式）、「しんきんゴールドＥＴＦマザーファンド」（金）の受益証券への投資を通じて、海外の複数の資産（米国債券・米国株式・金）に分散投資を行いました。

当ファンドは、米国債券の投資比率を「60％程度」としつつ、ファンドの基準価額の変動リスクを一定の水準に抑制することを目標として、米国株式と金への投資比率をそれぞれ「2.5～20％程度」の範囲内で調整します。当期は、2023年３月と６月に基準価額の変動リスクが低下したことから、米国株式と金への投資比率を引き上げましたが、７月と８月に基準価額の変動リスクが上昇したことから、米国株式と金への投資比率を引き下げました。その後、基準価額の変動リスクが大きい状態が続いたことから、米国株式と金への投資比率を低位で維持しました。

また、米国債券については、原則として為替ヘッジを行っています。

当期の各月末および決算日（2024年２月26日）の各資産（該当するマザーファンド）への投資比率は、下表のとおりです。

		米国債券	米国株式	金
2023年	２月	60.7%	2.9%	2.9%
	３月	60.6%	7.3%	7.1%
	４月	60.1%	7.4%	7.2%
	５月	60.2%	7.7%	7.6%
	６月	60.2%	14.6%	14.5%
	７月	60.3%	11.3%	11.3%
	８月	60.0%	4.5%	4.5%
	９月	60.2%	4.6%	4.5%
	10月	59.7%	4.6%	4.6%
	11月	59.6%	4.7%	4.7%
	12月	59.9%	4.6%	4.6%
2024年	１月	60.0%	4.8%	4.8%
	２月	60.1%	5.1%	5.0%

各マザーファンドの運用経過は、次のとおりです。

米国債券

●しんきん米国債券ＥＴＦマザーファンド

信託財産の成長を目指し、上場投資信託である「ｉシェアーズ・コア 米国総合債券市場 ＥＴＦ」を主要投資対象として運用を行いました。上場投資信託の組入比率は、高位を保つように努めました。

米国株式

●しんきんＳ＆Ｐ５００インデックスマザーファンド

Ｓ＆Ｐ500指数（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果を目指し、上場投資信託である「ｉシェアーズ・コアＳ＆Ｐ500 ＥＴＦ」を主要投資対象として運用を行いました。上場投資信託の組入比率は、高位を保つように努めました。

金

●しんきんゴールドＥＴＦマザーファンド

金地金価格への連動と信託財産の成長を目指し、上場投資信託である「ｉシェアーズ ゴールド・トラスト」を主要投資対象として運用を行いました。上場投資信託の組入比率は、高位を保つように努めました。

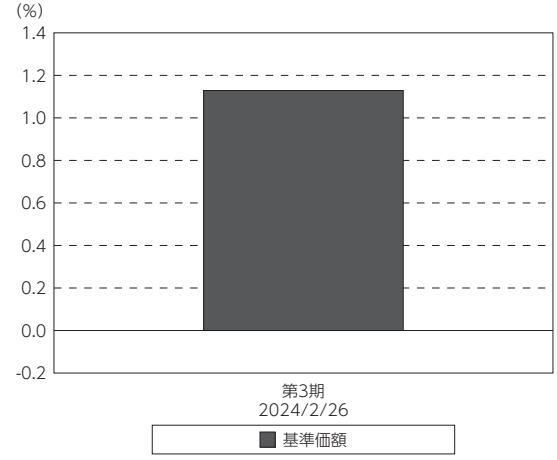
当ファンドのベンチマークとの差異

（2023年2月28日～2024年2月26日）

当ファンドは、海外の複数の資産（米国債券・米国株式・金）に分散投資を行っていますが、特定の指数を上回る、または連動を目指した運用を行っていないため、ベンチマークおよび参考指標はありません。

右記のグラフは、期中の当ファンドの基準価額騰落率です。

基準価額（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金

（2023年２月28日～2024年２月26日）

当期の分配金については、経費控除後の配当等収益や期末の基準価額水準等を勘案して、１万口当たり95円（税込み）としました。

なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項　　目	第３期 2023年２月28日～ 2024年２月26日
当期分配金	95
（対基準価額比率）	1.010%
当期の収益	95
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	56

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

引き続き運用の基本方針に従い、主として親投資信託である「しんきん米国債券ＥＴＦマザーファンド」（米国債券）、「しんきんＳ＆Ｐ５００インデックスマザーファンド」（米国株式）、「しんきんゴールドＥＴＦマザーファンド」（金）の受益証券への投資を通じて、海外の複数の資産（米国債券・米国株式・金）に分散投資を行います。

各資産への投資比率は、米国債券の投資比率を「60％程度」としつつ、ファンドの基準価額の変動リスクを一定の水準に抑制することを目標として、米国株式と金への投資比率をそれぞれ「2.5～20％程度」の範囲内で調整します。米国株式と金の投資比率は、ほぼ同じ比率とします。

なお、米国債券については、原則として為替ヘッジを行います。

各マザーファンドの運用方針は、次のとおりです。

米国債券

●しんきん米国債券ＥＴＦマザーファンド

主として上場投資信託である「ｉシェアーズ・コア 米国総合債券市場 ＥＴＦ」へ投資することで、実質的に米国の債券に投資を行い、信託財産の成長を目指します。

米国株式

●しんきんＳ＆Ｐ５００インデックスマザーファンド

主として上場投資信託である「ｉシェアーズ・コアＳ＆Ｐ500 ＥＴＦ」へ投資することで、実質的に米国の株式に投資を行い、Ｓ＆Ｐ500指数（配当込み、円換算ベース）に連動することを目指します。

金

●しんきんゴールドＥＴＦマザーファンド

主として上場投資信託である「ｉシェアーズ ゴールド・トラスト」へ投資することで、金地金価格への連動と信託財産の成長を目指します。

お知らせ

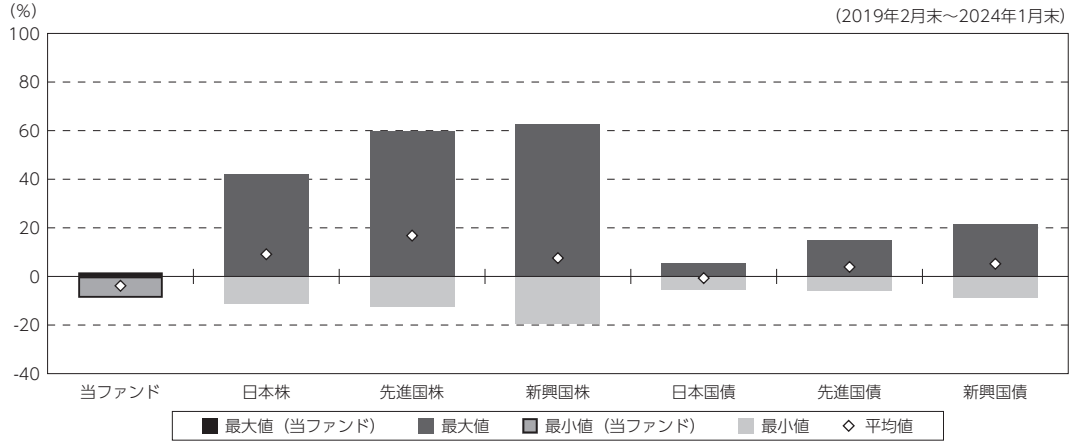
該当事項はございません。

当ファンドの概要

<table>
<tr><td>商品分類</td><td>追加型投信／海外／資産複合</td></tr>
<tr><td>信託期間</td><td>無期限</td></tr>
<tr><td>運用方針</td><td>①主として各マザーファンドの受益証券への投資を通じて、海外の複数の資産（債券・株式・金）に分散投資を行います。
②各マザーファンドの受益証券への投資比率は、以下の資産配分比率を目指します。
<table>
<tr><th>資産</th><th>マザーファンド</th><th>資産配分比率</th></tr>
<tr><td>米国債券</td><td>しんきん米国債券ＥＴＦマザーファンド</td><td>60％程度</td></tr>
<tr><td>米国株式</td><td>しんきんＳ＆Ｐ５００インデックスマザーファンド</td><td>2.5％～20％程度</td></tr>
<tr><td>金</td><td>しんきんゴールドＥＴＦマザーファンド</td><td>2.5％～20％程度</td></tr>
</table>
③ファンドの基準価額の変動リスクを一定の水準に抑制することを目標として、米国株式と金への投資比率を上記の資産配分比率の範囲内で調整し、短期金融資産を組み入れます。（米国株式と金の資産配分は、ほぼ同じ比率とします。）
④しんきん米国債券ＥＴＦマザーファンドについては、原則として為替ヘッジを行います。
⑤資金動向および市況動向等に急激な変化が生じたとき等やむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができないことがあります。</td></tr>
<tr><td>主要投資対象</td><td>マザーファンドの受益証券を主要投資対象とし、短期金融資産にも投資を行います。</td></tr>
<tr><td>運用方法</td><td>海外の複数の資産（債券・株式・金）に分散投資をすることにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。</td></tr>
<tr><td>分配方針</td><td>年１回の決算日に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。
①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。
②分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。</td></tr>
</table>

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（単位：％）

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	1.7	42.1	59.8	62.7	5.4	14.8	21.5
最小値	△ 8.8	△ 11.4	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	△ 3.8	9.1	16.8	7.6	△ 0.7	3.9	5.2

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注）2019年２月から2024年１月の５年間の各月末における直近１年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは2022年６月以降の年間騰落率を用いています。
（注）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
（注）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》
日 本 株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株：MSCI － KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債：NOMURA － BPI国債
先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、21ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

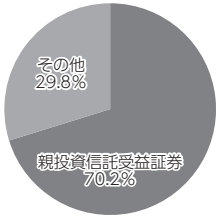
（2024年2月26日現在）

○組入上位ファンド

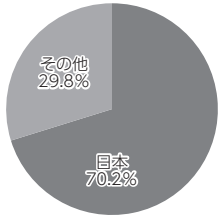
銘　　柄　　名	第３期末
	%
しんきん米国債券ＥＴＦマザーファンド	60.1
しんきんＳ＆Ｐ５００インデックスマザーファンド	5.1
しんきんゴールドＥＴＦマザーファンド	5.0
組入銘柄数	3銘柄

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。

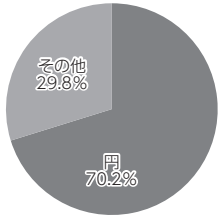
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。
（注）その他は、日本円による現金、コール・ローン等を示します。

純資産等

項　　目	第３期末
	2024年２月26日
純資産総額	375,273,817円
受益権総口数	402,982,805口
１万口当たり基準価額	9,312円

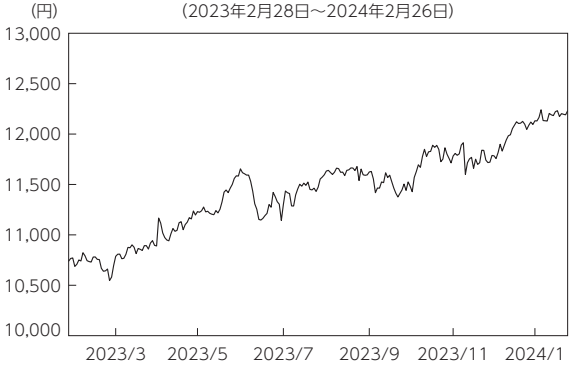
（注）期中における追加設定元本額は75,857,618円、同解約元本額は62,773,756円です。

組入上位ファンドの概要

しんきん米国債券ＥＴＦマザーファンド

【基準価額の推移】

（2023年2月28日～2024年2月26日）



【１万口当たりの費用明細】

（2023年２月28日～2024年２月26日）

項目	当期 金額	当期 比率
	円	%
(a) 売買委託手数料	3	0.026
（投資信託証券）	(3)	(0.026)
(b) 有価証券取引税	0	0.000
（投資信託証券）	(0)	(0.000)
(c) その他費用	17	0.146
（保管費用）	(16)	(0.143)
（その他）	(0)	(0.003)
合計	20	0.172
期中の平均基準価額は、11,413円です。		

（注）上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第３位未満は四捨五入しています。

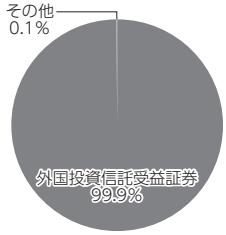
【組入上位銘柄】

（2024年２月26日現在）

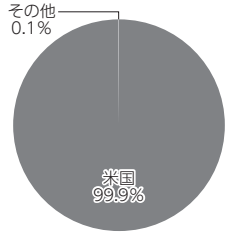
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	ISHARES CORE U.S. AGGREGATE BOND ETF	投資信託受益証券	米ドル	米国	99.9
組入銘柄数		1銘柄			

（注）比率は、純資産総額に対する割合です。
（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。
（注）国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

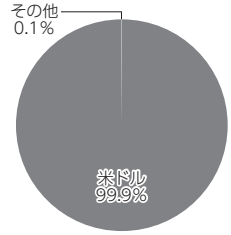
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

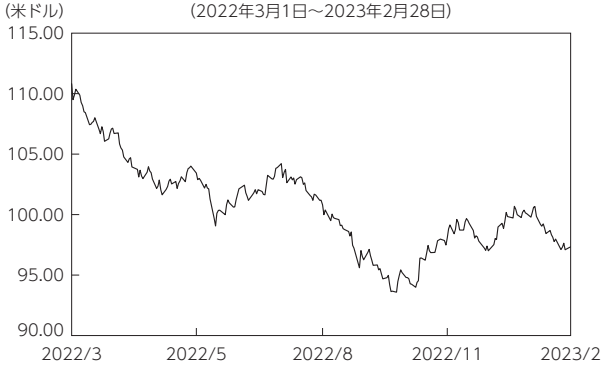
※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

＜ご参考＞ iShares Core U.S. Aggregate Bond ETF

※BlackRock Inc.作成のANNUAL REPORTの内容を基に、しんきんアセットマネジメント投信（株）が作成しています。

【１口当たり純資産価額の推移】

（2022年3月1日～2023年2月28日）



【費用比率】

（2022年3月1日～2023年2月28日）

項　　目	比　　率
	%
エクスペンスレシオ	0.03

（注）エクスペンスレシオは、当期間中の平均資産残高に対する運用その他の経費の比率を表示しています。

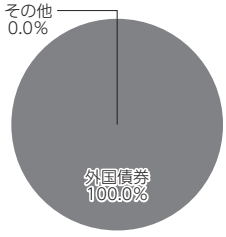
【組入上位10銘柄】

（2023年2月28日現在）

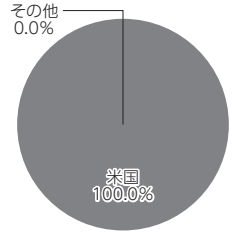
	銘　　柄　　名	利　率	満　期　日	比　率
		%		%
1	TREASURY NOTE	0.38	2026/1/31	0.7
2	TREASURY NOTE	2.88	2032/5/15	0.5
3	UMBS 30YR TBA(REG A)	2.50	2023/3/13	0.5
4	TREASURY NOTE	0.75	2028/1/31	0.5
5	TREASURY NOTE	0.38	2025/11/30	0.5
6	TREASURY NOTE (OLD)	4.13	2032/11/15	0.5
7	FNMA 30YR UMBS	2.00	2051/10/1	0.4
8	UMBS 30YR TBA(REG A)	3.00	2023/3/13	0.4
9	TREASURY BOND	1.88	2051/2/15	0.4
10	TREASURY NOTE	1.88	2032/2/15	0.4
組入銘柄数		10,771銘柄		

※マネー・マーケット・ファンドを除いて表示しています。

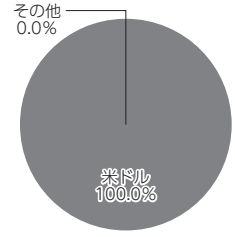
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

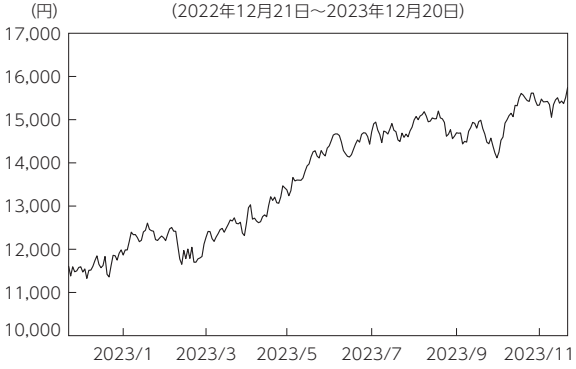


（注）比率は純資産総額に対する割合です。

しんきんＳ＆Ｐ５００インデックスマザーファンド

【基準価額の推移】

（2022年12月21日～2023年12月20日）



【１万口当たりの費用明細】

（2022年12月21日～2023年12月20日）

項目	当期 金額	当期 比率
	円	%
(a) 売買委託手数料	1	0.007
（投資信託証券）	(1)	(0.007)
(b) 有価証券取引税	0	0.000
（投資信託証券）	(0)	(0.000)
(c) その他費用	2	0.014
（保管費用）	(2)	(0.014)
（その他）	(0)	(0.000)
合計	3	0.021
期中の平均基準価額は、13,546円です。		

（注）上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第３位未満は四捨五入しています。

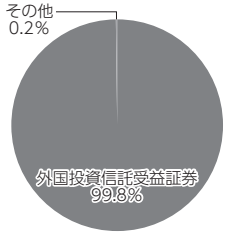
【組入上位銘柄】

（2023年12月20日現在）

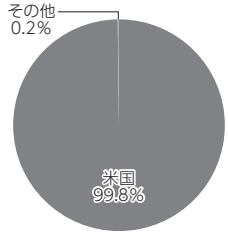
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	ISHARES CORE S&P 500 ETF	投資信託受益証券	米ドル	米国	99.8
組入銘柄数		1銘柄			

（注）比率は、純資産総額に対する割合です。
（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。
（注）国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

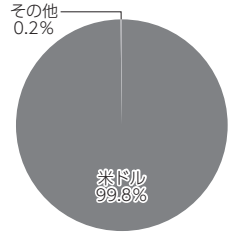
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

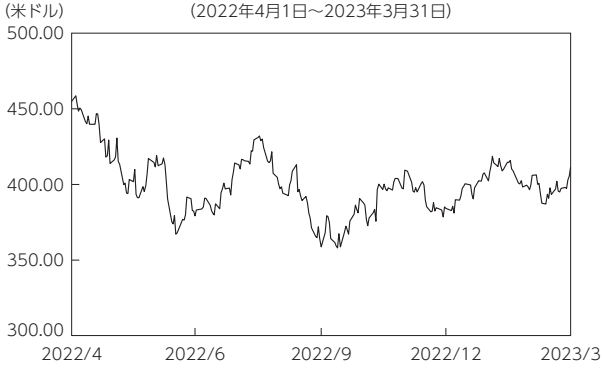
※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

＜ご参考＞ iShares Core S&P 500 ETF

※BlackRock Inc.作成のANNUAL REPORTの内容を基に、しんきんアセットマネジメント投信（株）が作成しています。

【１口当たり純資産価額の推移】

（2022年4月1日～2023年3月31日）



【費用比率】

（2022年4月1日～2023年3月31日）

項　　目	比　　率
	%
エクスペンスレシオ	0.03

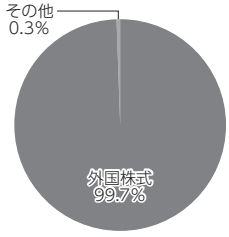
（注）エクスペンスレシオは、当期間中の平均資産残高に対する運用その他の経費の比率を表示しています。

【組入上位10銘柄】

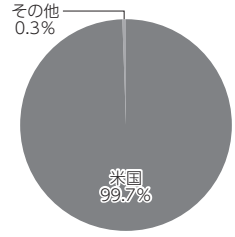
（2023年3月31日現在）

	銘　　柄　　名	比　　率
		%
1	APPLE INC	7.1
2	MICROSOFT CORP	6.2
3	AMAZON COM INC	2.7
4	NVIDIA CORP	2.0
5	ALPHABET INC CLASS A	1.8
6	TESLA INC	1.6
7	BERKSHIRE HATHAWAY INC CLASS B	1.6
8	ALPHABET INC CLASS C	1.6
9	META PLATFORMS INC CLASS A	1.4
10	EXXON MOBIL CORP	1.3
組入銘柄数		503銘柄

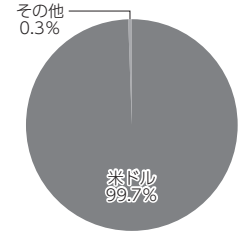
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

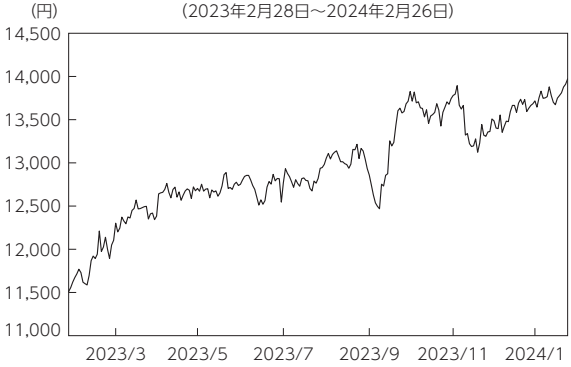


（注）比率は純資産総額に対する割合です。

しんきんゴールドＥＴＦマザーファンド

【基準価額の推移】

（2023年2月28日～2024年2月26日）



【１万口当たりの費用明細】

（2023年２月28日～2024年２月26日）

項目	当期 金額	当期 比率
	円	%
(a) 売買委託手数料	56	0.435
（投資信託証券）	(56)	(0.435)
(b) 有価証券取引税	0	0.001
（投資信託証券）	(0)	(0.001)
(c) その他費用	158	1.220
（保管費用）	(155)	(1.196)
（その他）	(3)	(0.024)
合計	214	1.656
期中の平均基準価額は、12,925円です。		

（注）上記項目の概要につきましては、運用報告書（全体版）をご参照ください。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第３位未満は四捨五入しています。

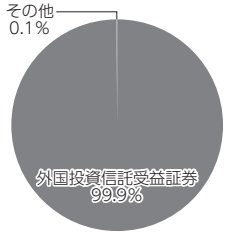
【組入上位銘柄】

（2024年２月26日現在）

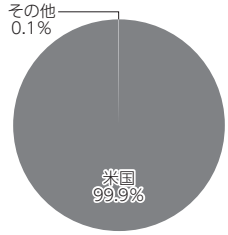
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	ISHARES GOLD TRUST	投資信託受益証券	米ドル	米国	99.9
組入銘柄数		1銘柄			

（注）比率は、純資産総額に対する割合です。
（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しています。
（注）国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

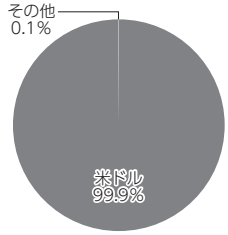
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

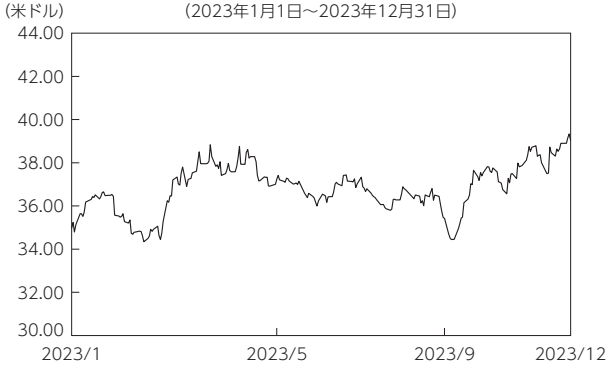
※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

＜ご参考＞ iShares Gold Trust

※BlackRock Inc.のホームページ掲載データを基に、しんきんアセットマネジメント投信（株）が作成しています。

【１口当たり純資産価額の推移】

（2023年1月1日～2023年12月31日）



【費用比率】

（2023年1月1日～2023年12月31日）

項　　目	比　　率
	%
スポンサー費用	0.25

（注）スポンサー費用とは、ファンド管理に掛かる費用をいいます。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害および一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社ＪＰＸ総研又は株式会社ＪＰＸ総研の関連会社に帰属します。

○MSCI － KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）
MSCI － KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA － BPI国債
NOMURA － BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA － BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）
JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス － エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス － エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。